

日高管内母子寡婦の会交流会



10月14日、町民センターにおいて、日高地区母子寡婦福祉レクリエーション大会が行われ、管内各町より約40名の参加者が集まりました。

このレクリエーションは、社会的・経済的に苦勞を重ねている母子家庭の親子を対象に毎年行われており、新冠町での開催は6年振りとなりました。

練習の成果を披露 秋季消防演習



10月21日、消防署新冠支署裏にある屋外訓練場において、新冠消防団全分団が参加し、秋季消防演習が行われました。

消防署新冠支署から出火した想定で行われた、各分団放水訓練や、号令で集合や行進など息のあった団体行動を行うなど、消防活動の意識を高めました。

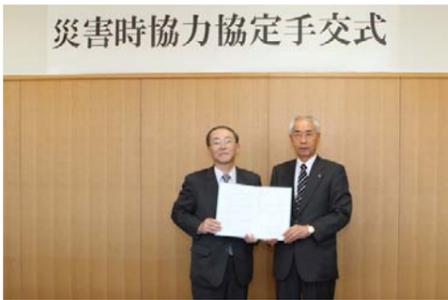
永浦渉さんに体協スポーツ賞



10月7日、永浦渉さんに新冠町体育協会より、新冠町体育協会スポーツ賞が贈られました。

同スポーツ賞は、体育振興に著しく功績のあった方々に贈られるものです。永浦さんは、小学3年生の時に力ヌーを始め、数々の大会で優勝。また2年連続で国体に出場するなどの活躍をされました。

災害復旧で協定書締結



10月31日、役場会議室において、新冠町と一般財団法人北海道電気保安協会との間で、災害時の電気設備の復旧に関する協定が結ばれました。

この協定は、自然災害や大規模停電、火災などの災害時に、町の要請により同協会が、公共施設の電力復旧のため応急対策を行う内容となっています。

まずは高台に避難

海岸地区避難訓練実施



10月21日、太平洋沿岸に大津波警報が発令された想定で、海岸地区を対象に避難訓練が実施されました。

津波の予想高さは10m。今回は、避難訓練としては始めて、車での避難も想定した訓練が行われました。

町職員は、災害対策本部を泊津生活館に設置。あいあい荘や老人ホームなどの高齢者施設への、避難支援の訓練を行いました。

今回、徒歩での避難者数は約555人、車両での避難は約70台という結果になりました。

ま ち の 題 話

あれこれ

社会福祉協議会に

福祉関連物品の寄附

10月25日、苫小牧生命保険協会より新冠町社会福祉協議会に対し、社会貢献活動の一環としてパソコンとデジタルカメラが贈られました。

生命保険協会は、協会加盟各社を対象に募金活動を実施し、集まった資金を基に地域の希望に応じ、社会福祉協議会や福祉施設などに、福祉巡回車や福祉器具、日常生活用品などを寄贈しています。



新冠町社会福祉協議会には、平成15年に軽自動車2台が寄贈されており、今回が2回目の寄贈となりました。

フリーカメラマン市川潔さん デイマシオ美術館で写真展開催



平成20年3月に閉校となった、旧太陽小学校に通う子ども達を写した写真展が、10月6日から「太陽の森デイマシオ美術館」（旧太陽小）で『笑顔の記憶〜太陽の子供たち〜』と題し開催されています。

写真を撮影したカメラマンは、神奈川県出身で現在太陽に住んでいる市川潔（いちかわきよし）さんで、主に車雑誌の写真を撮手がけているフリーカメラマンです。

かねてより田舎暮らしに興味があった市川さんは、インターネットで全校生徒10人にも満たない太陽小学校のことを知りました。この小さな小学校を自分の作品として撮りたいと思った市川さんは、平成16年の春、太陽に移住し撮影を開始したそうです。

写真は平成16年から閉校になるまでの4年間を撮影したもので、授業風景や休み時間のひとコマなど、いきいきとした子ども達が写しだされています。

写真展は11月30日まで開催されており、写真展会場だけの入場は、同美術館のご厚意により無料となっています。

自ら考え行動する教育委員会を目指し 新教育長に杉本貢氏就任



前教育長の辻本政壽氏の任期満了にともない、10月18日に開催された教育委員会において、教育長に杉本貢氏が選ばれました。

杉本教育長は札幌出身。北海道教育大学札幌分校を卒業後、恵庭市や千歳市などで23年間小学校の教諭として勤務。平成10年度から平成12年度には節婦小学校の教頭として新冠町に住んでいたこともありました。

その後、平成15年度に校長となり新ひだか町や浦河町で勤務し、平成23年度からは指導主事として新冠町教育委員会に在籍しておりました。

就任の挨拶では、「自ら考え・自ら行動する教育委員会として住民の福祉のために、新冠の町づくり・人づくりのために貢献したい」と決意を述べられました。